

令和7年4月23日

「観光事業者のための地震・津波対応マニュアル」及び「避難用シート」の作成について

関係機関や事業者が連携し地震発生時に観光客の安全を確保できるよう、昨年度、伊根町伊根地区をモデルとして「観光危機管理セミナー」及び「まち歩き」を開催し、意識醸成を図るとともに、地域特有の災害リスクの把握を行ったところです。

上記の取組を踏まえ、地震発生時に観光客の命を守るために必要となる初動対応や平時の備え等をまとめたマニュアル及び宿泊施設のゲストに向けた避難用シートを作成しましたのでお知らせします。

1 種類等

① 地震・津波対応マニュアル

仕様等：A3両面

掲載情報：初動対応、情報提供、平時の対策、ハザードマップ

(※) ハザードマップはエリア毎(計5エリア)に作成して掲載

配付先：伊根町伊根地区の観光事業者(約60事業者)

② 避難用シート

仕様等：A4片面、英語併記

掲載情報：避難案内、ハザードマップ

(※) ハザードマップはエリア毎(計5エリア)に作成して掲載

配付先：伊根町伊根地区の1棟貸宿泊施設(約30施設)

2 企画・作成

京都府丹後広域振興局、伊根町、(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社(通称：海の京都DMO)、伊根町観光協会

3 その他

今年度中にマニュアルを使った訓練を実施予定

【本報道発表に関するお問合せ】

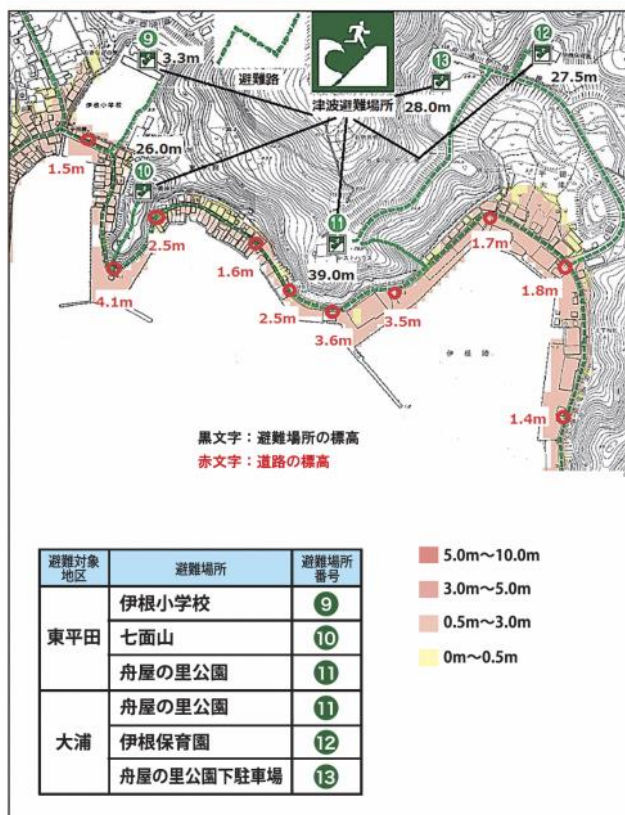
丹後広域振興局総務防災課	課長	高屋	電話 0772-62-4301
(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社(通称：海の京都DMO)	総合企画局	小西	電話 0772-68-5055



◎ マニュアル〈A 3 両面〉 (表面)

【ハザードマップ】

大地震発生時における津波の浸水想定や津波避難場所



(内面)

【情報提供】

観光客の安全確保や早期帰宅に向けた情報収集先

■ 関係機関リスト

種別	名称	電話番号
行政	伊根町総務課（代表）	0772-32-0501
	京都府丹後広域振興局総務防災課	0772-62-4301
	〃 丹後土木事務所	0772-22-3244
	宮津警察署	0772-25-0110
	〃 伊根駐在所	0772-32-0101
医療	伊根診療所	0772-32-0007
	京都府立医科大学附属北部医療センター	0772-46-3371
観光	伊根町観光協会	0772-32-0277
	海の京都 DMO	0772-68-5055
安否情報	災害用伝言ダイヤル	171
外国人支援	Japan Visitor Hotline (JNTO運営 多言語コールセンター)	050-3816-2787

■ 情報提供サイト・アプリ

種別	名称	種別	名称
地震 大雨	気象庁	道路	京都府道路情報管理・提供システム
	きょうと危機管理WEB		国土交通省道路情報提供システム
防災	内閣府	電気	関西電力送配電
	京都丹後鉄道	通信	NTT 西日本
交通	JR 西日本	外国人支援	(財)自治体国際化協会
	丹後海陸交通		Safety tips (災害時情報提供アプリ)

<memo>

☆事業者は、その他の情報収集先や連絡先を記載しておきましょう。

観光事業者のための 地震・津波対応マニュアル

【初動対応】

地震が発生したら実施すること（津波に備えて）

大きな揺れを感じたら、まず避難！

※津波は最速10分で到達します！情報を確認する時間はありません。
1秒の判断の遅れ、行動の遅れがゲストの生死に直結します。

地震発生直後

○事業者が宿にすぐ駆け付けられることができる場合

- ・事業者は、ゲストの安否確認（人数確認）を行う。
- ・事業者は、ゲストに、落ち着いて行動するよう伝える。Remain calm.
- ・事業者は、ゲストに、荷物を持たないよう伝える。Leave your luggage.
- ・事業者は、ゲストに、自分に付いてくるよう伝える。Follow me.

<memo>

☆事業者は、各自で避難場所を記載しておきましょう。

○事業者が宿にすぐ駆け付けられない場合

- ・事業者は、事前に聞いておいた情報を元にゲストに連絡する（携帯、WhatsApp）。
- ・事業者は、ゲストに、マニュアル（避難用シート）により避難するよう指示する。落ち着いて、荷物は持たず行動するよう伝える。Remain Calm. Follow the 'evacuation sheet'. Leave your luggage behind.

避難後

- ・事業者は、伊根町ネットワーク回覧板「いねばん」(*)やインターネットで情報収集し、観光客に提供する。（自己判断しない）

(*)各戸配備のタブレット(いねばん)とお持ちのスマホを連携することで、タブレットに配信される緊急避難情報がスマホにも配信されます。

- ・事業者は、ゲストに、津波注意報の解除までは宿に戻れないことを伝える。Please don't return to the accommodation until the tsunami warning is lifted.
- ・状況が落ち着けば、なるべく早く外国人に町外に避難してもらう必要がある。外国人が必要とする情報（駐日外国公館・大使館、関係省庁、支援組織等）を確認し、積極的に提供する。

【平時の対策】

日本人・外国人問わず迅速な初動対応のためあらかじめ準備しておくこと

災害発生時の施設利用者への伝達方法の確立

- ① 災害発生時、国籍や構成を把握した上で施設利用者へ連絡を取るため、正しい宿泊者名簿（チェックインカード等）により必要な情報を漏れなく記入してもらいましょう。

【法令（旅館業法）で定められた記載事項】

氏名／住所／職業

【条例（京都府旅館業の適切な実施の確保等に関する条例）で定められた記載事項】

連絡先／年齢／到着年月日及び出発年月日／前泊地及び行先地

- ② 日本に住所のない外国人に対しては旅券番号を控えることも義務化されています。

※旅券の呈示を求め、その写しを保存することとされています。

- ③ 災害発生時の連絡手段を伝えましょう。

→電話番号、内線番号、自身の滞在場所等（1棟貸しの宿泊施設は母屋の場所等）

- ④ 宿泊者名簿をスタッフでどのような方（人数や国籍等）が利用されているか共有しておきましょう。

施設がある地域の災害リスクの把握

- ① 災害発生時に自主的な判断が求められるケースがあることを理解してもらいましょう。
→ハザードマップや災害情報の配架や提出（情報提供ページを参照）
- ② 施設の場所から想定される災害について把握しておきましょう。
→災害の種類によるリスクの確認。ハザードマップの避難場所の確認や避難場所までのルート等

施設周辺の避難場所や関係機関の確認

- ① 避難場所の確認は所在地だけでなく、実際の道幅や階段の規模感等も把握しておきましょう。
→高齢者や足の不自由な方では避難できない可能性があります。その場合の避難先も検討しておきましょう。
- ② 医療機関や交通機関、行政サービス提供機関等を把握しておきましょう。
→当マニュアルでも示していますが、必要に応じて追加でリストアップすることが重要です。
- ③ 避難場所や関係機関のリスト及び連絡先はスタッフで共有しておきましょう。

外国人旅行者を受け入れる上で必要な心構え

- ① 災害情報や関係機関との連携により災害の危険度合いを把握する手段を確立しておきましょう。
→外国人旅行者は地震を経験したことがない方も多いため、例えば規模の小さい地震でも必要以上に恐怖を感じる方もあります。
- ② 異文化を理解することも必要です。
→宗教上の理由で災害時でも礼拝される方や、食料を口にできない方もあります。皆様にとって想定外の行動も異文化を理解していれば納得し適切に対応できるようになります。

災害への一般的な備え

- ① 災害発生後、状況が落ち着けば、ゲストにはなるべく早く町外に避難していただくことになりませんが、事業者自らの備えとして、食料や飲料を備蓄しておきましょう。また、必要に応じて救急用品や土嚢など、平時に準備しておくことも重要です。
- ② 災害時、有効に備蓄品を活用できるように備蓄品リストを作成し、期限や数量等を把握して切らさないように管理しましょう。

◎ 避難用シート 〈A 4 片面〉

ゲスト用

EARTHQUAKE EVACUATION SHEET

避難用シート

Stay calm. Wait for the shaking to stop.
 大きな揺れを感じたら、落ち着いて、揺れが収まるのを待って。
 Leave your luggage behind. Walk to the nearest evacuation site.
 何も持たずに、急いで、近くの避難場所に避難を。
 A tsunami can hit as soon as 10 minutes after the quake.
 早ければ10分で津波が来ます!!



黒文字：避難場所の標高
Evacuation Site Elevation

赤文字：道路の標高
Road Elevation

避難所名	避難場所番号
伊根小学校	9
東平田	10
舟屋の里公園	11
舟屋の里公園	11
大浦	12
舟屋の里公園下駐車場	13

5.0m～10.0m
 3.0m～5.0m
 0.5m～3.0m
 0m～0.5m



事業者さま

- 宿の位置、最寄りの避難場所の位置を左の地図に分かりやすいようにマークしてください。
- オーナーへの緊急連絡先を記入してください。
Boathouse host
☎ (cellphone)

☎ (WhatsApp)



13



12

〈道路から避難場所への進入地点〉 Point of entry from road to evacuation site



9



10



11